

■米国：ニュージャージー州、今年末にも RGGI を脱退か

2011 年 5 月 30 日付業界紙によると、ニュージャージー州が今年末にも北東部諸州が参加する地域温室効果ガス・イニシアティブ（RGGI）を脱退する構えを見せている。報道によれば、同州の Christie 知事（共和党）は 2011 年 5 月 24 日の記者会見で、RGGI の排出量取引は温室効果ガス削減に寄与しておらず失敗であり、将来的にも成功しないとの認識を示すとともに、同州内で今後は石炭火力新設を許可せず、天然ガス火力・洋上風力を推進するとの方針を示した。RGGI では排出量取引を通じて 2018 年までに CO₂ の 18%削減を目指す枠組みで、ニュージャージー州、コネティカット州、デラウェア州、メイン州、メリーランド州、マサチューセッツ州、ニューハンプシャー州、ニューヨーク州、ロードアイランド、バーモント州の 10 州が加盟する。環境団体や他州の知事は、天然ガス火力推進は温室効果ガス排出を増加させるもので Christie 知事の決定は矛盾していると批判している。